

火山災害(富士山)

◆富士山火山について

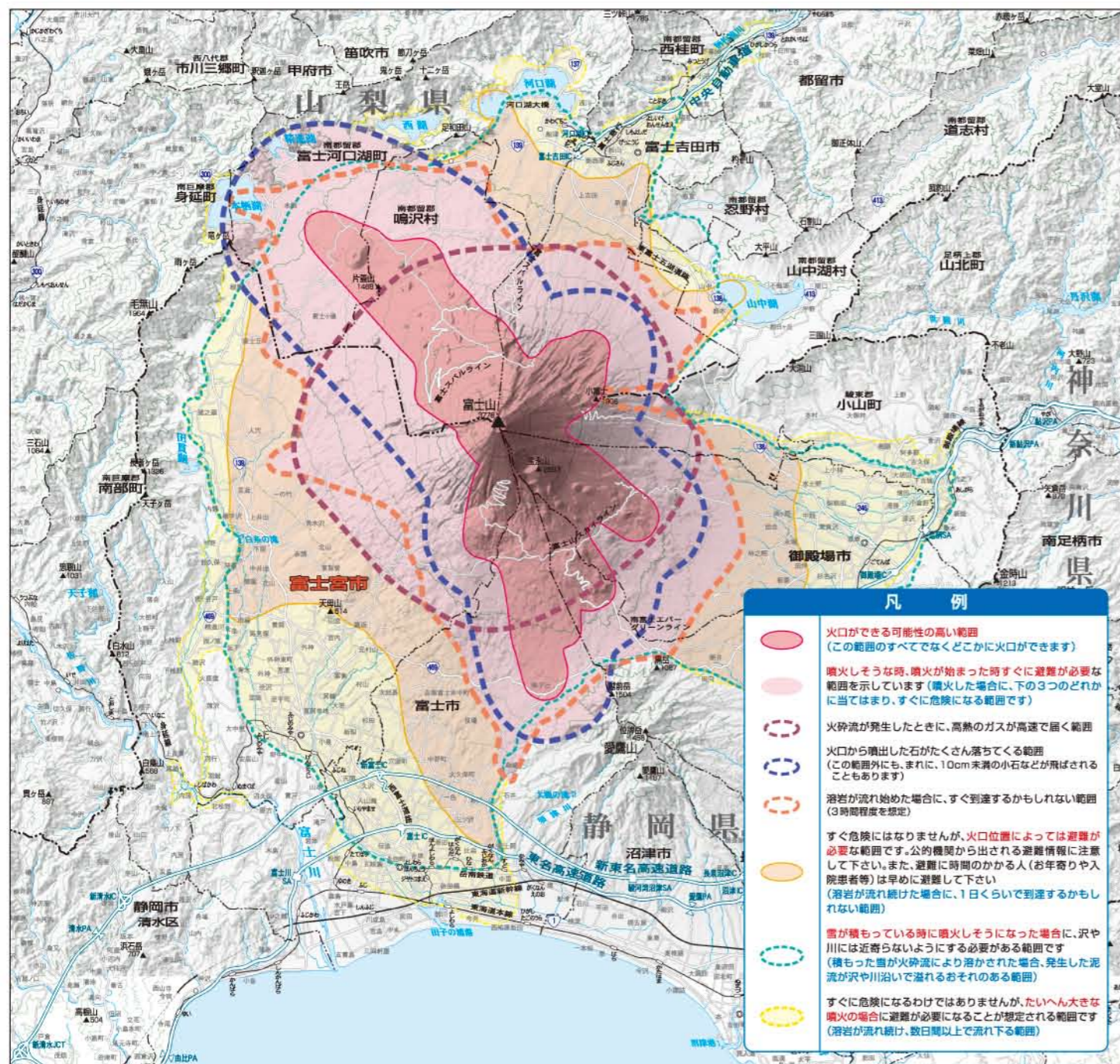
富士山は、1707年(宝永4年)の噴火後、300年以上噴火活動が見られません。しかし、地下深くでは、今もマグマ活動を続けている活火山です。噴火した場合に想定される影響範囲と避難すべき段階は、9ページの「避難対象となる地区と避難先(市内避難の場合)」をご確認ください。

また、平成28年2月22日には、活動火山対策特別措置法に基づき、富士山(静岡県側)では、富士宮市を含めた7市町が「火山災害警戒地域」として指定されました。

※富士山ハザードマップと避難対象となる区域等については現在、関係機関にて改定作業中です。近日中に内容が更新される予定です。

◆富士山ハザードマップ(富士山噴火災害予想図)

この図は、富士山が噴火した場合に、溶岩流、噴石、火砕流などの影響が及ぶと考えられる範囲を重ねたものです。全方位に同時に発生することを意味するものではありません。また、実際の噴火活動時には、この図に示した範囲外に影響が及ぶ可能性もあります。



◆富士山の火山活動に関する情報(噴火警戒レベル)

噴火警戒レベルとは、気象庁が発表する気象警報で、火山活動の状況に応じて5段階に区分され、とるべき防災行動を示しています。※富士山では、火口の位置を特定することが困難なため、レベルが上昇する際の噴火警戒レベル2は運用しないことになっています。

予報警報	噴火警戒レベル	対象範囲	説明	
			火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応
特別警報(噴火警報)	レベル:5 避難	居住地域及びそれより火口側	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは迫っている状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。 ※第1次・第2次避難対象エリアにお住まいの方は、 避難してください。 第3次避難対象エリアにお住まいの方は、 避難準備をしてください。 (避難行動要支援者は、 避難してください。)
	レベル:4 高齢者等避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備、避難行動要支援者の避難等が必要。 ※第1次避難対象エリアにお住まいの方は、 避難してください。 第2次避難対象エリアにお住まいの方は、 避難準備をしてください。 (避難行動要支援者は、 避難してください。)	
火口周辺警報	レベル:3 入山規制	火口から居住地域近くまで	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止や入山規制等、危険な地域への立入規制等。 ※第1次避難対象エリア内での登山や観光は、できなくなります。また、今後の情報の変化に注意し、素早く対応できるようにしてください。
	レベル:2 火口周辺規制	火口周辺	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺への立入規制等。 ※規制された場合は、その区域へ近づかないようにしましょう。また、今後の情報の変化に注意し、素早く対応できるようにしてください。
噴火予報	レベル:1 活火山であることに留意	火口内等	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	特になし。

◆火山現象

火山は、時として大きな災害を引き起こします。特に、大きな噴石の飛来、火砕流、融雪型火山泥流は、噴火から避難に要するまでの時間がほとんどなく、生命に対する危険性が高い火山現象として位置づけられています。したがって、住民が火山災害を回避するためには、噴火情報や避難計画を活用した行動が必要になります。

溶岩流

マグマが火口から噴出して高温の液体のまま地表を流れ下るものです。地形や溶岩の温度・組成にもよりますが、流下速度は比較的遅く人が歩く程度なので余裕を持って逃げる事ができます。

噴石

火口から噴出した岩石は、屋根を突き破る程の力を持っています。被害は火口周辺の概ね4km以内に限られますが、死傷者を出す事もあります。
※小型の砂岩は、風によって数10km先まで飛散することがあり、風下では特に注意が必要です。火口から距離がある場合、迅速に屋内に避難しましょう。

火砕流

高温の火山灰や砂岩、火山ガスが一体となって急速に山体を流下し、広範囲を焼失、埋没させる極めて恐ろしい火山現象です。流下速度は時速100km以上、温度は数100℃にも達します。

融雪型火山泥流

積雪期の火山において噴火に伴う火砕流等の熱によって斜面の雪が融かされて大量の水が発生し、周辺の砂岩を巻き込みながら高速で流下する現象です。流下速度は時速60kmに達し、広範囲に大規模な災害を引き起こします。

降灰

火山灰は、時に数10kmから数100km以上運ばれて広域に降下・堆積し、農作物の被害、交通麻痺、家屋倒壊、航空機のエンジントラブルなど広く社会生活に深刻な影響を及ぼします。

降灰後土石流

噴火により堆積した岩石や火山灰に雨が降ると、土石流や泥流が発生しやすくなり、大災害を引き起こす事があります。これらの土石流や泥流は、高速で斜面を流下し、下流域に大きな被害をもたらします。